

平成18年度  
第3回 徳山地区地域審議会  
会 議 録

日 時：平成18年10月20日（金）

場 所：周南市役所 3階 第6会議室

## 【会 議 次 第】

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 今後の運営・検討事項について

・部会の設置について

(2) 徳山駅周辺整備について（中心市街地整備課からの概要説明）

4 閉会

## 平成18年度 第3回徳山地区地域審議会 会議録

日 時 平成18年10月20日(金) 午前9時30分～午前11時30分

場 所 周南市役所 3階 第6会議室

出席者 ・委員 12名

小田 敏雄(会長)、中村 俊孝(副会長)、清永 一彦、廣澤 和己、  
山本 裕之、山田 好美、木船 淳雄、福原 和子、河野 裕美、  
大寺 和美、清木 寛、萩原 幸夫

・事務局 3名

住田企画課長、原田係長、青木

・中心市街地整備課 3名

有吉課長、山本課長補佐、川口主任

### 会 議 経 過

#### 1 開 会

#### 2 あいさつ

#### 3 議 事

##### (1) 今後の運営・検討事項について

- ・部会の設置について

会 長

- ・今後の運営については、前回の会議において色々ご審議をいただき、最終的には  
安心・安全について  
地域格差について  
という2点、そして、後ほど説明があるが  
徳山駅周辺整備について  
という合計3点について、委員の皆様からお伺いしたご意見をまとめたものを事前  
にお配りしている。
- ・又、これを基に 安心・安全と 地域格差という2つの部会に分け、この中で委員  
の皆様方の意見を、より具体的にまとめていきたいという事で、部会の振り分け(案)  
をお配りしている。振り分けについては、あくまで(案)の段階であり、「私はこちら  
の方が良い」等のご希望があれば、後ほどお願いいたしたい。
- ・なお、徳山駅周辺整備の問題に関しては、中心市街地整備課の説明を聞いた上で、  
各地域・各団体の代表として委員さんの意見を、最後に全員でまとめる事ができれ  
ばまとめるという事で方向付けがされている。
- ・それでは、まず、部会の振り分け(案)について、会議を進めていきたいと考えて  
いるが、今、お手元の(案)をご覧になられて何かご意見、ご希望等ありますか。  
無ければ、この振り分け(案)のとおりでよろしいでしょうか。

委員一同

- ・異議なし。

## 会 長

- ・それでは、この（案）のとおり部会を構成し、進めていく事としたい。部会の運営に関しては、後ほど時間を取り、部会内で話し合い、ご意見を出していただきたいと思う。進め方等について、何かご意見がありましたらお願いしたい。

## 委 員

- ・今までは会合を開けば手当が支給され、市長名で開催案内が来ていたが、部会というものを一体どう考えているのかという点と、今後、当然、部会長が選ばれるであろうが、部会長の独断で良いのかという2点について、事務局の考え方を確認しておきたい。

## 事務局

- ・新南陽、熊毛いずれも部会を持っている。部会というのは所謂、勉強会的なスタンスという事で、これについて報酬は出していない。それがまず1点。
- ・次に、運営については、基本的には部会長を筆頭に、各委員が都合の良い日・良い時間を決めていただいた上で、日程の調整や会議場所等の確保は事務局で行う。新南陽、熊毛地区についても同様の状態で、活発に審議していただいております。新南陽については今月初め、意見具申書の提出をいただき、関係各課がそれに対する回答を現在作成中という状況にある。

## 会 長

- ・他に何かありませんか。無ければ、部会に分かれ、今後の日程や運営方法について協議していただきたいと思う。

その後、 安心・安全部会、 地域格差部会に分かれての打合せとなる。

### （協議の概要）

#### 安心・安全について

- ・部会長...中村副会長を選出。
- ・テーマを広げ過ぎない方が良い。今、子供の安全が大きな問題となっているので、子供に関する諸問題を中心に討議していく。
- ・部会開催の日程は11月27日（月）9：30～ 第2会議室となる。

#### 地域格差について

- ・部会長...萩原委員を選出。
- ・今後については、まず第1回目の部会を開き、検討事項、検討回数等の細かい部分を決定する事とした。なお、次回部会までに自分の地域内での地域格差をまとめておく事となる。
- ・部会開催の日程は11月22日（水）13：30～ 第2会議室となる。当初は20日（月）であったが、後に変更となった。

### （2）徳山駅前周辺整備について（中心市街地整備課からの事業概要の説明）

#### 会 長

- ・それでは、議事1については、部会の方で方針・進め方が決まったようなので、今後は部会内で進めていっていただく事とし、議事2の徳山駅前周辺整備について、中心市街地整備課の方から説明をお願いしたいと思う。

中心市街地整備課 有吉課長より、別紙資料とパワーポイントの映像を基に、計画の概要及び進捗状況の説明あり。

## 会 長

- ・ありがとうございました。ただ今、中心市街地整備課から事業内容について、色々ご説明がありました。委員の皆さんの方で何かご意見・ご質問等ありましたらお願いしたい。

委員の方々から以下のような質問、意見あり。これらの質問、意見に対して、有吉課長との質疑応答となる。

### 委員さんの意見・質問等

寄せられたパブリックコメントの内容と、それに対する計画変更や計画追加等についての確認。

- ・送迎用駐車場、無料駐車場の問題

- ・駅前広場だけでなく、全体像の中で考えるべきではないか

どういう人達をターゲットとし、中心市街地の賑わいを取り戻そうとしているのかというコンセプトが曖昧ではないか。

中心市街地の活性化の為にやるのか、人口増という漠然とした目的でやるのか、商業人口の増加という目的でやるのかが不明。駅前を整備しても市街地の活性化にはならないし、人口増にもつながらない事は明らかである。

周南市は観光地ではない。周南市が目指すべき一番の基本は、周南市で生活し働いてもらい定住してもらう事である。40億円という支出とのバランスを考えると、ここまでやる必要があるのか疑問である。

駅南口は下関と状況が似ており、港が近くスペースがあまり無い。そうすると上へ伸びる、高層化するしか方法がない。下関市のような大型ショッピングセンター等の出店は期待できないのか。

「周南市の顔づくり」として駅周辺整備を捉えているが、それがハッキリとイメージできていない事が原因ではないか。それを具体化する事が第一である。「周南市はこういう生き方をするんだ、こういうまちづくりをするんだ」というテーマをキチンと表す事ができれば、それは活性化であろうが人口が増えようが増えまいが関係ない。そこにシンボルがあれば、自然にそういう世界が広がってくると思う。

街中居住の問題と過疎地の問題を、どのように考えているのか。何でもかんでも街中に集中する事で、果たして周南市を活性化する事ができるのか。今の有り様だと、源流を絶やしながら下流が栄える事はあり得ない。周辺部の自然も守れず、破壊し続けている状況で、駅前の活性化は、長い目で見ると無理ではないか。

駅を整備した事で人口が増える、活性化するなど市民は誰も考えていない。徳山には大型客船が停泊できる港がある。親水公園もある。周南市が所有しているそういう資源・財産を有効活用する事が先ではないか。

北口駅前広場の予算は概算で40億円とあるが、バスとタクシーの乗降場所を入れ換えただけではないのか。それではシンボルとはならない。40億円の無駄遣いをしたというシンボルになる恐れがある。

駅前整備計画は、合併前の徳山市の段階から存在しているが、あまりにも「新市の顔づくり」にこだわり過ぎているのではないか。JRの土地を購入し駅舎まで建ててあげるという事を考えると、もっと真剣に考えないといけない。40億円というお金を他の事業（例えば市道の整備、周辺部のバス運行補助等）に使った方が、余程、住民のためになる。駅ビルが建つのが悪いとは言わないまでも、駅前周辺整備で活性化と言われると、皆、疑問に思ってしまうのは仕方ない。

先日、防府駅が綺麗になっているのを見て驚いた。今回、色々な計画案を見て自分のまちの駅も綺麗であれば良いと思うので、基本的にはこれで良いと思う。

しかし、よく考えてみると「たかが駅」である。都会のように、電車がないと生活

できない訳ではないし、個人的には年に数回しか利用しない。駅を利用する人は駅に来る訳ではなく、駅からどこかに行く為に駅を利用している。活性化策の一つとして市の玄関口を綺麗にするという事は必要であるが、お客があまり来ない玄関に大金をかけて綺麗にするよりは、例えば市役所を市の顔として捉えて綺麗にするという考え方もあるのではないか。

駅前が綺麗なのに越した事はないが、商店街はシャッターが閉まっている店が増え、ビジネス街の企業も街中のオフィスを閉め、駐車場付きの郊外に移転したりしている。駅が綺麗になっても商店街には人がいない、企業もないという事になれば結局、無駄になってしまうのではないか

駅南口近くに仕事の居を構えているが、表口（北口）に行くのは、月1回程度であまり実感がない。駅が綺麗になって人が増えるとは思えないが、エレベーターやエスカレーターという設備は、今後、高齢化が進む中で、また、あれだけの規模の駅にエレベーターの1基もない所はないので、必要だろうと思う。

40億円をかけ駅前広場を綺麗にして人が増えるかという問題に対しては、疑問符を持っている人は多いと思う。地域として色々な要望を市長に提出するが、「お金が無い」と言われてしまう。40億円を、生活上、本当に必要な部分に充てる事が必要ではないか。もっと真剣に議論し、効果のある思い切った方法を取る事が必要である。

高層ビルが立ち並び、新幹線も停まる等、都会への憧れは誰もが持っている。しかし、今やそういう時代ではなく、認識を変えなければならない。周南市は観光地ではないので、観光客を呼ぼうというのは到底無理である。周南市は商業地、工業地であるので、皆、働く人が住んでいる。それをどう生かすかが課題である。それと後は、特徴である。周南市という地形や環境をどう捉えて、どういうまちづくりをしていくかが重要である。

今、大工場内に定修が入っており、宿泊所や飲食街はそれら工事関係者で賑わっている。これこそまちの活性化である。

周南市は、1時間もあれば四国にも広島にも萩にも下関にも行ける恵まれた市である。周南市に住んで、「安心なまちである」、「住みよいまちである」というコンセプトに立つべきである。

駅前は汚すぎるので綺麗にすべきであるが、費用との兼ね合いが問題である。

#### 会 長

- ・そろそろ時間となったが、各委員さんから色々なご意見・ご質問があった。また、そのご意見・ご質問に対して、中心市街地整備課からの丁寧なご説明とご回答をいただいた。
- ・駅前周辺整備の問題に関しては、今の説明を踏まえて、今後、検討を重ねた上で、徳山地区地域審議会としてどうするか、意見がまとまれば意見具申として提出するし、まとまらなければ今後の継続審議としたいと思う。
- ・また、部会については、各部会内で十分に審議を重ねていただき、意見を取りまとめていきたいと思う。本日は大変お疲れ様でした。

## 4 閉 会